

習志野市における住宅用火災警報器奏功事例

発生年月	時間帯	建物種別	概要
平成19年11月	朝	戸建住宅	床の間のロウソクから付近に延焼したが、住警器音に気づいた家人が消火し、ぼやでした。
平成21年10月	昼	戸建住宅	コンロに鍋をかけたまま外出し空焚きとなったが、住警器音に気づいた通行人と隣家住民が消火、消防通報し、ぼやでした。
平成22年 3月	夜	戸建住宅	コンロに土鍋をかけたまま外出し空焚きとなったが、住警器音に気づいた通行人が消防通報し、火災には至りませんでした。
平成23年 7月	夜	戸建住宅	コンロに鍋をかけたまま放置し空焚きとなったが、住警器音に気づいた当事者が消火し、火災には至りませんでした。
平成23年 9月	深夜	共同住宅	就寝中に別室から出火したが、住警器音に気づいた家人が消火し、ぼやでした。
平成23年11月	早朝	共同住宅	居住者在宅中の寝室から出火したが、住警器音に気づいた隣家住民が消火、消防通報し、ぼやでした。
平成23年12月	昼	戸建住宅	コンロに鍋をかけたまま外出し空焚きとなったが、住警器音に気づいた隣家住民が警察通報し、火災には至りませんでした。
平成24年 2月	夕	戸建住宅	コンロに鍋をかけたままその場を離れ空焚きとなったが、住警器音に気づいた当事者が消火し、ぼやでした。
平成24年 6月	深夜	共同住宅	コンロに鍋をかけたまま寝込んでしまい空焚きとなったが、住警器音に気づいた隣家住民が警察通報し、火災には至りませんでした。
平成24年 7月	深夜	戸建住宅	コンロに鍋をかけたまま寝込んでしまい空焚きとなったが、住警器音に気づいた当事者が消火し、火災には至りませんでした。
平成25年10月	昼	戸建住宅	無人の部屋に置かれた凹面鏡の太陽光反射によって発火したが、住警器音に気づいた家人が消火しました。
平成29年1月	朝	戸建住宅	コンロに天ぷら鍋をかけたままその場を離れ、てんぷら油に引火したが、住警器音に気づいた当事者が対応し、ぼやでした。
令和2年2月	夜	共同住宅	台所でフライ調理をしていたが、電話が鳴り離れてしまう。住宅用火災警報器の警報音で気づき火災には至らなかった。

令和5年4月	夜	戸建住宅	ガスコンロ上で鍋に火をかけているのを忘れ、内容物を焦がし、住宅用火災警報器が鳴動し気付いたため、火災には至らなかった。
令和5年5月	夜	戸建住宅	住宅用火災警報器が鳴動したため、室内を確認したところロフトから煙が出ていたため、バケツに水を入れて消火できたため、火災には至らなかった。